

司学館高等学校

学習計画表

＜令和５年度＞
－前期－

注意

- 科目を選択する時、履修科目を登録する時に、内容をよく読み、十分参考にすること。
- また、日々の学習の折々に、必要に応じて確認し、自学・自習が円滑に進められるよう心がけること。
- 学習の進め方や注意事項、評価のポイントなどは、この学習計画表の内容と共に、担当教員からの指示もよく聞いて、従うこと。何かわからないことがあれば、遠慮なく、すぐに質問・相談すること。

令和5年度前期 学習計画表 目次

国語演習①	【1】
現代の国語	
地理総合	【2】
世界史A	
日本の文化を学ぶ	【3】
近江の偉人	
公共	【4】
新聞を読もう	
現代の課題	【5】
倫理	
数学演習①	【6】
数学Ⅰ①	
数学A	【7】
科学と人間生活①	
地学基礎①	【8】
生物基礎①	
琵琶湖と環境	【9】
保健A	
体育A①	【10】
体育B①	
体育C①	【11】
体育D	
体育G	【12】
音楽Ⅰ	
英語演習①	【13】
英語コミュニケーションⅠ①	
家庭基礎①	【14】
情報リテラシー	
東近江大風	【15】
日本の美を探究する	
ライフデザインB	【16】
令和5年度総合的な探究の時間について	【17】
令和5年度前期 司学館講座 内容	【18】
学習活動における注意事項①	【19】
学習活動における注意事項②	【20】
メディア・スクーリング科目別免除回数一覧	【21】
学習状況の評価について	【22】

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
国語	国語演習①	桂田	(ねらい) 文章を読むために必要な初歩的なことばのきまりを理解し、基礎力を養うとともに、ことばについての関心・理解を養う。							

注意事項	〈レポート〉 計画的に取り組むこと。文章をよく読んでから、課題に取り組むこと。 誤字・脱字の無いように気を付けること。ていねいさのないレポートは、再提出とします。
	〈スクーリング〉 ●真剣な態度がない、また周囲の迷惑になっている生徒については、出席と認めない。 ●毎回、課題プリントの作成と提出を求め、評価の対象とする。テキスト・レポートを持ってくること。

添削指導		面接指導	
No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	言葉の単位 (文章、段落、文、文節、単語) 文の成分 (主語・述語)	<1>	ことばの役割と大きさ 文の成分 主語・述語・修飾語 文図 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	修飾を理解しよう (形容詞・形容動詞)		
3	修飾を理解しよう (副詞・連体詞) 修飾の応用		
4	文図を使って文を理解する (単文・重文・複文) 主語と述語	<2>	分かりやすい文・あいまいな文 (文の訂正) メディア・スクーリングのみ実施
5	接続語 指示語		
6	分かりやすい文・あいまいな文		

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
国語	現代の国語	桂田	(ねらい) 論理的な文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を的確に捉え、要旨や要点を把握すること。							

注意事項	〈レポート〉 計画的に取り組むこと。文章をよく読んでから、課題に取り組むこと。 誤字・脱字のないように気をつけること。ていねいさのないレポートは、再提出とします。
	〈スクーリング〉 ●真剣な態度がない、また周囲の迷惑になっている生徒については、出席と認めない。 ●毎回、課題プリントの作成と提出を求め、評価の対象とする。レポート・教科書を持ってくること。

添削指導		面接指導	
No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	ルリボシカミキリの青(福岡伸一) 文章読解・要約・比喩等の修辞・婉曲的な表現	<1>	水の東西(山崎正和)を読む <1> 評論文の構成・要約など 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	異なる種類の文章を読み比べよう 文章の種類と目的		
3			
4	水の東西(山崎正和) 評論文の構成 文章読解・対句・対比・要約など	<2>	水の東西(山崎正和)を読む <2> 評論文の構成・要約など メディア・スクーリングのみ実施
5			
6	新聞記事を読んで意見文を書こう 文章読解・要約・意見文		

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
地理 歴史	地理総合	上山	(ねらい) 地域性を踏まえ、現代世界の地理的な諸課題を考察する。 現代世界の地理的認識、地理的な見方や考え、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							

注意事項	〈レポート〉 ●基本的に1問1答問題なので、問題文で何を問うているかをよく考えて、答えるようにしてください。 ●各問題に教科書ページが参照してあります。そのページを初めからしっかりと読めば答えはわかるはずです。
	〈スクーリング〉 ●積極的な態度等を評価する。

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	球面上の世界と地図	地球上の位置 地軸の傾きと季節変化 世界地図の見方・使い方	〈1〉	海外旅行計画	旅行ガイドなどを利用して、海外旅行計画を立ててみる。 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	国家の結びつきとグローバル化する社会	国家の領域と国境 領土問題 交通機関の発達 高度情報社会			
3	生活・文化の多様性と国際理解	世界の気候 世界の人々の衣食住			
4	持続可能な社会を目指してすべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて	SDGs 貧困問題 人口問題 食料問題 水問題 ジェンダー問題	〈2〉	レポート解説 テストについて	レポートの中でまちがいがやすいところを解説する。 メディア・スクーリングのみ実施
5	豊かな社会に向けて将来世代のための地球	持続可能な産業化 資源・エネルギー問題 滋賀県の問題			
6	平和で公正な社会において	民族問題・世界の紛争 自然災害と防災			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
地理 歴史	世界史A	上山	(ねらい) 世界の歴史を日本の歴史と関連づけながら理解し、人類の課題を多角的に考察する。歴史的思考力と、国際社会で生きる日本人としての自覚を養う。							

注意事項	〈レポート〉 評価の上で、次の4点を特に重視する。 ●計画的に学習しているか? ●ていねいに書けているか? ●自分の考えが書けているか? ●調べ学習において、しっかりと調べてあるか?
	〈スクーリング〉 評価の上で、次の2点を特に重視する。 ●スクーリング中、集中できているか? ●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか?

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	東アジア世界 南アジア世界	古代中国の文明(殷・周) 古代インドの文明(インダス文明) ヒンドゥー教とカースト	〈1〉	キリスト教の成立と発展	- 世界の宗教 - イエスの登場 - イエスの逸話の紹介 - 発展と迫害 - 公認 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	ヨーロッパ世界	古代ギリシャ 古代ローマ キリスト教の成立			
3	オリエント世界(西アジア) イスラーム世界	古代オリエント イスラム教の世界			
4	世界の一体化	ルネサンス 宗教革命 大航海時代	〈2〉	レポート解説 テストについて	レポートの中でまちがいがやすいところなどを解説する。 ・時差について メディア・スクーリングのみ実施
5	ヨーロッパ・アメリカの諸革命	産業革命 フランス革命・アメリカ独立戦争			
6	現代世界のあゆみ	第一次世界大戦 第二次世界大戦			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
地理 歴史	日本の文化を 学ぶ	上山	(ねらい) 日本の文化や伝統を捕らえなおし、日本のすばらしさを知ること							

注意事項	〈レポート〉評価の上で、次の4点を特に重視する。●計画的に学習しているか？ ●ていねいに書けているか？ ●自分の考えが書けているか？ ●調べ学習において、しっかりと調べてあるか？
	〈スクーリング〉評価の上で、次の2点を特に重視する。●スクーリング中、集中できているか？ ●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか？

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	飛鳥文化 白鳳文化	仏像・建築物・工芸品など	〈1〉	仏教	仏教の簡単な話 仏像から見る仏教 仏像の見方
2	天平文化 弘仁・貞観期 の文化	仏像・建築物・工芸品など			学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	国風文化 院政期の文化	文学・仏教思想・絵画			
4	鎌倉文化 室町文化	鎌倉仏教・建築・芸能・絵画	〈2〉	神仏習合 (しんぶつしゅうごう)	仏教の話 神道のはなし 神仏習合とは
5	安土・桃山文化 寛永期の文化	城郭(じょうかく)・絵画			メディア・スクーリングのみ実施
6	元禄文化 化政文化	絵画・学問・文学			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
郷土 学習	近江の偉人	上山	(ねらい) 郷土で活躍した人物の生き方について調べたことと関わらせて、自己の 生き方を見つめる。							

注意事項	〈レポート・テスト〉教科書・副読本はありません。したがって、インターネットか図書館で調べるしかありません。レポートは期末試験に使用するのでなくさないようにすること。
	〈スクーリング〉評価の上で、次の2点を特に重視する。●スクーリング中、集中できているか？ ●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか？

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	中江藤樹	近江聖人と呼ばれた陽明学者	〈1〉	中江藤樹	近江聖人と呼ばれた陽明学者
2	井伊直弼	彦根藩主・幕府の大老という二つの顔を持つ。名君？暴君？			学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	伊藤忠兵衛	近江商人の筆頭			
4	ウィリアム・メレル・ヴォーリス	日本で数多くの西洋建築をてがけた建築家	〈2〉	レポート解説 テストについて	レポートの中でまちがいがやすいところを解説する。
5	土川平兵衛	命をかけて領民をまもった天保義民			メディア・スクーリングのみ実施
6	糸賀一雄	社会福祉の父			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
公民	公共	住友	(ねらい) グローバルな社会で生活し、平和で民主的な国家・社会をつくる ひとをめざす。							

注意事項	〈レポート〉	● できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。
	〈スクーリング〉	● ふまじめな ひと、態度の わるい ひと、まわりの めいわくになる ひと、欠席に する。 ● 毎回、課題プリントの 提出を もとめる。きちんと メモを とり、提出した ひとだけ出席に する。

添削指導		面接指導	
No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	社会で生きるとのこと みんなが幸せな社会とは？	〈1〉	環境問題と人間の活動 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	公共的な空間における基本原理(1)		
3	公共的な空間における基本原理(2) 私たちの生活と法(1)		
4	私たちの生活と法(2)	〈2〉	社会のルールについて考えよう！ メディア・スクーリングのみ実施
5	私たちの生活と経済		
6	私たちの生活と国際社会		

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
公民	新聞を読む	住友	(ねらい) 新聞に なれしたしみ、みぢかな 情報源に しよう。							

注意事項	〈レポート〉	● すべての レポートに 〈スクラップ 課題〉(新聞の きりぬき)がある。 <u>やらなければ かならず再提出。</u> ● いえで 新聞を とっていない ひとには、学校で 新聞を 提供します。
	〈スクーリング〉	● ふまじめな ひと、態度の わるい ひと、まわりの めいわくになる ひと、欠席に する。 ● 毎回、課題プリントの 提出を もとめる。きちんと メモを とり、提出した ひとだけ出席に する。

添削指導		面接指導	
No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	四コマ マンガ	〈1〉	テストについての 説明 (〈スクラップ 課題〉Aについて) 新聞記事の 構成について ※ この 科目の テストは、〈スクラップ 課題〉を つくって 提出してもらいます。 ※ 成果が 不十分なら、不合格に なります。 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	新聞広告		
3	川柳		
4	見出し	〈2〉	テストについての 説明 (〈スクラップ 課題〉Bについて) 記事になるか ならないか ～ニュースの 価値判断 ～ ※ この 科目の テストは、〈スクラップ 課題〉を つくって 提出してもらいます。 ※ 成果が 不十分なら、不合格に なります。 メディア・スクーリングのみ実施
5	写真記事		
6	投書		

● この科目は
教科書は
ありません

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
公民	現代の課題	住友	(ねらい) 現代の倫理的な課題についてかんがえ、追求し、 自己の生きかたの確立をめざす。							

注意事項	〈レポート〉	● できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。
	〈スクーリング〉	● ふまじめな ひと、態度の わるい ひと、まわりの めいわくになる ひと、は、欠席にする。 ● 毎回、課題プリントの 提出を もとめる。きちんと メモを とり、提出した ひとだけ出席にする。

添削指導		面接指導	
No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	生命倫理の問題(1)	〈1〉	「みえない障害」 ～ 合理的配慮とは なにか
2	生命倫理の問題(2)		
3	家族と地域社会(1)		
4	家族と地域社会(2)	● この科目は「倫理」の教科書をつかいます	
5	人類の福祉(1)		
6	人類の福祉(2)		
		〈2〉	デザインが 社会を かえる ～ マナーの改善を うながす デザイン
			学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
			メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
公民	倫理	住友	(ねらい) 人間を 尊重する 精神に たって、人間の ありかたや 生きかたを かんがえる。 自己の 人格を たかめ、良識ある 公民となる ことを めざす。							

注意事項	〈レポート〉	● できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。
	〈スクーリング〉	● ふまじめな ひと、態度の わるい ひと、まわりの めいわくになる ひと、は、欠席にする。 ● 毎回、課題プリントの 提出を もとめる。きちんと メモを とり、提出した ひとだけ出席にする。

添削指導			面接指導	
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	ソクラテス プラトン アリストテレス	ギリシャの思想	〈1〉	キリスト教 … イエスの ことばから 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	孔子 孟子 荀子 墨子 老子 莊子	中国の思想		
3	イエス ブッダ	人生と宗教		
4	ベーコン デカルト カント	科学的な ものの見かた・かんがえかた	〈2〉	仏教 … ブッダの ことばから メディア・スクーリングのみ実施
5	キルケゴール ニーチェ	真実の自分を もとめて		
6	ヤスパース ハイデッガー サルトル			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	3回
数学	数学演習①	足立	(ねらい) 数の計算、文字式の計算について理解し、高校の数学を学ぶにあたって必要とされる 基礎学力定着と数学に対する苦手意識の克服をめざす。							

注意事項	●レポートでは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えが正解でも計算過程が記述されていない場合は再提出になることがある。 ●スクーリングで使う課題プリントは、評価の対象とするので毎回必ず指示とおりに完成すること。 ●理解できない内容は必ず質問をして、わからないままにしておかないこと。									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	四則演算/ 約数と倍数	四則演算 約数と倍数	<1>	分数	分数の意味 分数の四則演算 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	負の数	整数 負の数の四則演算			
3	分数	分数の意味、約分、通分 分数の四則演算	<2>	文字式	文字式の約束 単項式のたし算とひき算 多項式のたし算とひき算 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
4	小数/割合	小数の四則演算 分数と小数の関係 割合			
5	文字式	文字式 整式のたし算・ひき算 分配法則と乗法公式の関係	<3>	平方根	平方根の性質 平方根の四則演算 メディア・スクーリングのみ実施
6	平方根	平方根の性質 平方根の四則演算			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
数学	数学Ⅰ①	村田	(ねらい) 方程式、不等式、二次関数等について理解し、知識の習得と計算力向上を図る。事象を論理的に考察する能力を養う。上位学校の入学試験に対する基礎学力を習得する。							

注意事項	●レポートは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えのみ記入され、計算の過程(筆算もふくむ)が記入されていないレポートは受理せず再提出とする。●スクーリングで配る課題プリントは、評価の対象とするので毎時間後に必ず提出すること。●希望者には試験用練習問題を配布します。									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	整式	整式のたし算・ひき算 指数法則 乗法公式 / 因数分解	<1>	2次方程式	因数分解 2次方程式の解き方 2次方程式の解の公式 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	実数	数の分類 平方根の四則演算 分母の有理化			
3	1次方程式と 1次不等式	1次方程式の解き方 1次不等式の解き方			
4	2次方程式	2次方程式の解き方 2次方程式の解の公式	<2>	2次関数	2次関数とそのグラフ 2次式の変形 メディア・スクーリングのみ実施
5	2次関数と そのグラフ	1次関数とそのグラフ 2次関数とそのグラフ頂点の座標			
6	2次関数の 値の変化	2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
数学	数学A	足立	(ねらい) 集合・場合の数、順列組合せ、確率、図形の性質、空間図形について基礎的な知識の習得と計算力向上を図り、より論理的な思考ができることを目標とする。							

注意事項	●レポートでは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えが正解でも計算過程が記述されていない場合は再提出になることがある。 ●スクーリングで使う課題プリントは、評価の対象とするので毎回必ず指示とおりに完成すること。 ●理解できない内容は必ず質問をして、わからないままにしておかないこと。
------	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	集合/場合の数	集合 集合の要素の個数 場合の数(和の法則、積の法則)	〈1〉	場合の数	集合
2	順列・組合せ	順列 重複順列 組合せ			場合の数
3	確率	確率の定義 確率の加法定理 余事象の確率			順列 組合せ 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
4	三角形の性質	三角形と比 三角形の重心・外心・内心 角の二等分線と線分の比	〈2〉	確率	確率の定義
5	円の性質	円周角の定理 円に内接する四角形 方べきの定理/2つの円の位置関係			確率の計算
6	空間図形	直線や平面の位置関係 多面体			余事象の確率 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	1単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	3枚	スクーリング 回数	4回
理科	科学と人間生活①	土田	(ねらい) 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。							

注意事項	〈レポート〉 ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。 ●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。 〈スクーリング〉 ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。 ●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。
------	---

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	材料とその利用	・原子とその構造 ・プラスチックの特徴 ・プラスチックの分類と用途 ・さまざまなプラスチック 資源の再利用	〈1〉	材料とその利用	・物質を構成する粒子 ・プラスチック ・金属 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	材料とその利用 衣料と食品	・金属と人間生活 ・金属のさびと合金 ・繊維 ・栄養素	〈2〉	食品	・食品に含まれる栄養素 ・栄養素の消化の過程 ・化学反応を起こす栄養素 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	熱や光の科学	・温度と熱運動 ・熱容量と比熱 ・仕事や電流と熱の発生 ・光の性質と利用 ・電磁波の種類とその利用	〈3〉	熱の性質と その利用	・熱の性質 ・熱と仕事 メディア・スクーリングのみ実施
			〈4〉	光の性質と その利用	・光の性質 ・光の利用 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	1単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	3枚	スクーリング 回数	4回
理科	地学基礎①	土田	(ねらい) 日常生活や社会との関連をはかりながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

注意事項	〈レポート〉 ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。 ●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
	〈スクーリング〉 ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。 ●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	地球のすがた	・地球の形と大きさ ・地球の内部構造と動き ・プレートの運動 ・地殻の変動と地質構造 ・大地形の形成	〈1〉	地球	・地球の誕生 ・地球の構成 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	地球の活動	・地震 ・火山活動	〈2〉	地球の活動	・地震活動 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	大気と海洋	・大気の特徴と特徴 ・太陽放射と地球放射 ・高気圧と低気圧 ・大気の大循環 ・海洋の構造	〈3〉	地球の活動	・火山活動 メディア・スクーリングのみ実施
			〈4〉	大気と海洋	・大気の特徴と性質 ・海洋の構造と性質 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	1単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	3枚	スクーリング 回数	4回
理科	生物基礎①	土田	(ねらい) 日常生活や社会との関連をはかりながら、生物や生物現象への関心を高める。生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

注意事項	〈レポート〉 ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。 ●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
	〈スクーリング〉 ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。 ●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	生物にみられる多様性と共通性	・生物の祖先とその特徴 ・進化と多様性 ・真核細胞とその構造 ・顕微鏡を用いた観察	〈1〉	生物の共通性の由来	・原核生物と真核生物 ・顕微鏡 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	細胞とエネルギー	・代謝とエネルギー ・エネルギー代謝とATP ・ATPの構造と役割	〈2〉	細胞の構造	・原核細胞とその構造 ・真核細胞とその構造 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	遺伝子とその働き	・遺伝子とDNA ・遺伝子の働き	〈3〉	細胞とエネルギー	・代謝とエネルギー ・光合成 ・呼吸 メディア・スクーリングのみ実施
			〈4〉	遺伝子とその働き	・遺伝子とDNA ・遺伝子の働き メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
理科	琵琶湖と環境	土田	(ねらい) 琵琶湖の成り立ちから現在までの環境状態を学習し、琵琶湖に対する理解を深めていく。また、調べた資料を正確に読み取り、まとめる力を養う。							

注意事項	<レポート> ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。 ●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
	<スクーリング> ●持ち物：筆記用具、スクーリングを受ける「やる気」。 ●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	生い立ち	【概要】 ※すべてのレポートに、ポスター製作の課題がある。この課題にとりくまなければ、再提出になる。 レポート全体の取組みが不十分な場合も同じとする。 ※この科目は総合力を養う。 ①図や表から読み取れることを文章化する、②文章を読み必要な情報をまとめる(図式化することを含む)作業が中心である。	<1>	ポスター製作 予行練習①	【スクーリングの概要】 ポスター課題の題材提供、調べ学習のやり方、ポスターのまとめ方について、要点を絞り実施する。 図表の読み方、文章のまとめ方などは、演習形式で行うことを考えている。 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	固有種				
3	絶滅した生物				
4	ヒト	※教科書や副読本は用意していない。辞書・資料・インターネットなどを使って調べる作業がある。	<2>	ポスター製作 予行練習②	【試験方法】 琵琶湖に関することで一枚のポスターを作成・提出したものを、期末試験として評価する。 提出課題の用紙は指定する。 ※ペーパーテストは実施しない。 メディア・スクーリングのみ実施
5	生態系				
6	環境保全				

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
保健 体育	保健A	山口	(ねらい) 個人および社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて、自らの健康を適切に理解し、改善していく資質や能力を培う。							

注意事項	<レポート> ① 完成度 ② 提出日を守る ③ ていねい書く などを総合的に評価する
	<スクーリング> ① 教科書、筆記用具を持ってくる ② 参加態度を重要視します
	<履修について> 前籍校にて1単位修得済みの人、保健Bを修得した人は、履修できない

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	現代社会と健康	喫煙と健康 飲酒と健康 など	<1>	生活習慣病	①生活習慣と関連の深い病気 -生活習慣病- ②健康の基本 -食事、運動、休養および睡眠- 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2		感染症の予防 エイズの予防 など			
3	安全な社会生活	精神疾患の特徴と対応 など 事故の現状とその対応 など			
4	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識の変化と性行動 など	<2>	保健・医療・医薬品の制度とその活用	①保健行政の仕組み・サービス ②医療制度と医療保険 ③医療機関と適切な活用方法 ④医薬品の種類と使い方 メディア・スクーリングのみ実施
5		結婚生活と健康 妊娠・出産 家族計画 など			
6	健康を支える環境づくり	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康 など			

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	2枚	スクーリング 回数	10回
保健 体育	体育A①	山口	(ねらい) スポーツの意義や歴史、文化的特徴や現代スポーツを取り巻く経済、政治 外交などスポーツを取り巻く様々な問題について学ぶ。							

注 意 事 項	〈学校でのスクーリング〉 ●〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。) ●体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。 ●安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、<u>はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)</u> 〈レポート〉〈メディア・スクーリングプリント〉 ●完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。 ●実際に<u>動画を見ながら</u>体操などいくつかの<u>種目に取り組む必要がある</u>。									
------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導				
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容			
1	スポーツの発祥と発展	①スポーツの発祥と成立 ②スポーツ文化の発展と現代社会	〈1〉	学校でのスクーリング	1. 体操・ストレッチ 2. 集団行動 音楽に合わせた体ほぐし運動 など	メディア・スクーリング ・体育Aについて ・体育での注意事項 ・体操	
			〈2〉		メディア・スクーリング ・運動、スポーツ、体育の違い ・体操		
			〈3〉	学校でのスクーリング	1. 体操・ストレッチ 2. 集団行動 3. 体力測定 握力、上体おこし、反復横跳び など	メディア・スクーリング ・体操 ・補強運動	
			〈4〉		メディア・スクーリング ・体操 ・柔道について		
			〈5〉	メディア・スクーリングのみ実施	体力の把握	1. 体操・ストレッチ 2. 体力測定 ①50m走 ②持久走 など	
2	1. スポーツの発祥と発展 2. 柔道について	①持続可能性からみたスポーツと環境 ①歴史と発展 ②基本技術 など	〈6〉			1. 体操・ストレッチ 2. 体力測定 ①握力 ②上体おこし など	
			〈7〉			集団行動	1. 指トレーニング ^o 2. 特性について 3. 姿勢・整頓 など
			〈8〉				1. 指トレーニング ^o 2. 礼・方向転換 など
			〈9〉			スポーツと環境	1. スポーツと環境問題 2. スポーツと持続可能性
			〈10〉	応急手当	1. 日常的な手当 2. 緊急時に直面した時の手当		

教科	科目	担当	単位数	1単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	1枚	スクーリング 回数	5回
保健 体育	体育B①	山口	(ねらい) 運動技能を構造的に理解すると共に、その上達過程と上達の程度を把握する方法を身に付ける。							

注 意 事 項	〈学校でのスクーリング〉 ●〈1〉〈2〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。) ●体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。 ●安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、<u>はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)</u> 〈レポート〉〈メディア・スクーリングプリント〉 ●完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。 ●実際に<u>動画を見ながら</u>体操などいくつかの<u>種目に取り組む必要がある</u>。									
------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	運動・スポーツの 学び方	1. スポーツにおける技術と戦術・戦略 2. スポーツにおける技能と体力 3. 技能の上達過程と練習の考え方 4. ダンス・体操競技	〈1〉	①諸注意 ②なわとび ③体力測定	1. 体育について 2. 個人なわとび 3. 体力測定(1) 握力など 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
			〈2〉	①なわとび ②体力測定	1. 個人なわとび 2. 体力測定(2) 反復横跳び など 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
			〈3〉	ダンス	1. ダンス ①歴史や特性 ②ヒップホップダンス メディア・スクーリングのみ実施
			〈4〉	体操競技	1. 体操競技 ①歴史と特性 ②競技種目紹介 メディア・スクーリングのみ実施
			〈5〉	体育理論	1. 運動・スポーツの学び方 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	1単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	1枚	スクーリング 回数	5回
保健 体育	体育C①	山口	(ねらい) 各ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を理解し、自分に合ったスポーツライフを設計する。							

注意事項	〈スクーリング〉 ●〈1〉〈2〉は実技。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。) ●体操服(運動のできるジャージ)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなり、参加できない。 ●安全のため、ピアスやネックレス、指輪、時計、つけ爪などは、<u>はずして参加すること。</u>(できない場合は、<u>参加を認めない</u>) 〈レポート〉〈メディア・プリント〉 ●完成度 提出日を守る ていねいに書く などを総合的に評価する。 ●実際に<u>動画を見ながら</u>体操など、いくつかの<u>種目に取り組む必要がある。</u>
------	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	豊かなスポーツ ライフの設計	1. 生涯スポーツの見方・考え方	〈1〉	①諸注意 ②体力測定	1. 体育について ・注意事項などの確認 ・バランストレーニング ・体操 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
		2. ライフスタイルとスポーツの楽しみ方	〈2〉		2. 体力測定 ①握力 ②上体おこし ③立ち幅跳び ④長座体前屈 ⑤反復横跳び ⑥閉眼片足立ち
		3. 水泳競技	〈3〉	水泳競技	1. 歴史と特性 2. 基本技術について など メディア・スクーリングのみ実施
			〈4〉	豊かなスポーツ ライフの設計	1. スポーツ科学のすすめ 2. スポーツに関わる職業 メディア・スクーリングのみ実施
			〈5〉		1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルとスポーツの楽しみ方 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	2枚	スクーリング 回数	8回
保健 体育	体育D	山口 池田	(ねらい) スポーツの高度な技能を習得できるようにすると共に、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を養う。							

注意事項	〈レポート〉●学習の計画性や取り組む姿勢などを重視。 〈スクーリング〉 ●〈1〉～〈8〉すべて実技(バスケット・ボール)。服装や参加意欲、技術面や協調性などを特に評価。〈5〉〈6〉は実技試験。 ●ジャージと体育館シューズを必ず持参すること。忘れた者は参加させない。 ●安全のため、ピアスやネックレス、時計、ネイルなどは<u>はずして参加すること。</u>激しい運動なので、ルールや指示を守れない者、<u>積極的に参加できない者は、けが防止のため履修を取り消す。</u> ●場所は本校ではなく、すべて<u>布引体育館で実施。補習もありません。</u> ※履修者の人数により変更する場合があります。 メディア・スクーリングは、ありません (動画の授業)
------	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	バスケット・ボールの 歴史や技術を知る	①歴史や特性 ②施設や基本技術について など	〈1〉	バスケット・ ボールの 楽しさを知る	ルール解説 ドリブルワーク シュート練習 ゲーム など 布引体育館でスクーリング実施
			〈2〉		
			〈3〉	基本動作を身に つける	シュート練習 ゲーム など 布引体育館でスクーリング実施
			〈4〉		
2	戦略・戦術を知る	①競技方法について ②ルール・審判法 ③まとめ など	〈5〉	実技試験	● 実技試験 ①ドリブル ②シュート など ※内容は履修者人数により変更有 布引体育館でスクーリング実施
			〈6〉		
			〈7〉	ゲームを楽しむ	ゲーム 布引体育館でスクーリング実施
			〈8〉		

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	2枚	スクーリング 回数	4回
保健 体育	体育G	山口 池田	(ねらい) 計画的な実践と五感を通して楽しく自然とかかわり、野外の専門的な運動を理解・習得する。							

注意 事項	●「体育C」を履修した生徒は、本科目を履修できません。また、本科目は、＜3＞の時に課題提出試験を実施します。 ●4回行われるスクーリングは、すべて出席すること。＜1＞のスクーリングの服装は、自由です。 ●スクーリング＜2＞は、予備日がありません。森を歩くので、長袖、ズボン、靴、帽子など服装には注意が必要です。 (スクーリング＜1＞で説明します) 場所は、「河辺生き物の森」となります。 【注意】天候・参加者数などにより、ネイチャーゲームや時間などは、変更する場合があります。									
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	豊かなスポーツ ライフの設計	1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルとスポーツの楽しみ方 3. スポーツ推進のための施策と課題 4. スポーツで未来を創る	＜1＞	事前活動 (本校)	1. 野外活動について 2. 現地活動について ・マナーや諸注意 ・集合場所、時間などの確認 学校でのスクーリングのみ実施
			＜2＞	現地活動 (河辺生き物の森)	1. 楽しくハイキング 2. ネイチャーゲーム (スケッチ、観察 など) 「河辺生き物の森」のみ 実施
2	野外活動 水泳競技	1. 歴史と発展 2. 野外活動の注意 ・環境、安全への配慮 3. 水泳競技 ・歴 史 ・基本技術	＜3＞	現地活動まとめ (本校)	1. 課題提出試験 (ネイチャークラフト) 2. まとめ 学校でのスクーリングのみ実施
			＜4＞	体育について	1. 体育Gについて 2. 体操 3. 水泳競技について メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	8回
芸術	音楽Ⅰ	西川	(ねらい) 楽典の基礎を身につけ、簡単な楽譜が読めるようになる。日本の伝統音楽に触れて、日 本文化に対する関心を深める。鑑賞を交えながら西洋音楽史を学び、各時代の特徴を知る。							

注意 事項	〈レポート〉 ●教科書で調べて分かる範囲については、しっかり書けているかどうか？を評価の基準にします。 ●No.5のチャレンジ問題は、教科書には載っていませんので、各自調べて答えて下さい。 〈スクーリング〉 ●真剣な態度がない。または周囲の迷惑になる生徒については、出席と認めません。 ●毎回、課題プリントの提出を求めます。 ●配付するプリントもテスト範囲になります。									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	日本の芸能と音楽	日本の伝統芸能の歴史を学ぶ。	＜1＞	西洋音楽史	中世～バロック 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
			＜2＞		古典派 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	ピアノの歩み	ピアノが現在の形になるまで。	＜3＞	楽典	調号と主音 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	音楽の基礎知識	科学的に音とはなにか？を考える。	＜4＞		音程 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
4	世界の楽器	世界の楽器の特徴を学ぶ。	＜5＞	世界の音楽	ポピュラー音楽のルーツ メディア・スクーリングのみ実施
5	総合芸術	総合芸術にはどのようなものがあるか	＜6＞		日本の伝統芸能と音楽 メディア・スクーリングのみ実施
6	楽典	大譜表の音符。調号と主音の関係	＜7＞	オペラ	オペラの歴史と魅力 メディア・スクーリングのみ実施
			＜8＞		コジ フアン トウツテ鑑賞 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	1単位	配当年次	1年次	レポート 枚数	3枚	スクーリング 回数	4回
外国語	英語演習①	松藤	(ねらい) 読み書きの基本に重点を置いた英語学習に取り組むためにアルファベットから始めて、その基礎を固めることを目的とする。							

注意事項	●正しいアルファベット・英文の書き方を身に着けるため、レポート学習では例や見本に従って丁寧に書くこと。 ●スクーリングもレポートも書く作業が多いが、丁寧に書くこと。 ※ 4線を使って英語を書くのは、この科目だけなので特に丁寧に書くこと。 You can do it!									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	アルファベット ローマ字	アルファベットの太文字・小文字の練習や、アルファベットの順序、書き間違いやすいアルファベットなど、単語を書くことで練習する。 ヘボン式ローマ字で名前などを書く	〈1〉	アルファベット 太文字・小文字 ローマ字	アルファベットの形と順序 ヘボン式ローマ字で自分の名前などを書く 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	4つの英語の約束、日本語の主語・動詞、英語の仕組み	4つの英語の約束、日本語の中の主語と動詞、日本語と英語のちがいを知る	〈2〉	4つの英語の約束文を構成する要素	4つの英語の約束を使って、単語や英文を書く。日本語と英語を構成する順序のちがいを知る 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	英語の主語・動詞、品詞(名詞・動詞・形容詞)	英文の中の主語と動詞を基本にして、日本語を見て英文を作り、品詞(名詞・動詞・形容詞)を知る	〈3〉	英語の仕組み 日本語と英語の主語・動詞	日本語と英語の仕組みのちがいを日本語の中の主語と動詞、英語の中の主語と動詞 メディア・スクーリングのみ実施
			〈4〉	前期学習内容の復習 品詞について 英単語の読み方	前期学習内容の復習 品詞(名詞・動詞・形容詞)について 英単語の読み方(アルファベット読みとフォニックス読み) メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	8回
外国語	英語コミュニケーションⅠ①	大平	(ねらい) 中学までの学習を確認し、高校英語へとステップアップできるよう基礎を中心に組みつつ、英語への興味関心を高めることを目的とする。							

注意事項	レポート	●レポート以外にも教科書のPRACTICE!を利用して勉強すること。 ●レポートに取り組むときには、必ずレポート内の「ヒント」を読んでから始めること。								
	スクーリング	●スクーリングには、必ず教科書・筆記用具を持参すること。 ※スクーリング2回目から教科書を使って練習問題をします。 ●スクーリングの練習問題と教科書には必ず取り組むこと。取り組んでいない場合、再提出になります。								

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	代名詞 be動詞の文 一般動詞の文	代名詞の確認 be動詞・一般動詞の現在形の肯定文・否定文・疑問文	〈1〉	代名詞	代名詞の確認 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	疑問詞 過去形	疑問詞を用いた疑問文 be動詞・一般動詞の過去形の肯定文・否定文・疑問文	〈2〉	be動詞の文 一般動詞の文	be動詞 一般動詞の肯定文と否定文 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	進行形 助動詞 接続詞	現在進行形と過去進行形 助動詞を用いた文 接続詞thatとwhen	〈3〉	疑問文	基本的な疑問文 疑問詞を用いた疑問文 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
4	第4文型 第5文型	第4文型 S V O O 第5文型 S V O C	〈4〉	現在進行形 過去形	be動詞・一般動詞の過去形の文 現在進行形 過去進行形 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
5	to不定詞	名詞的用法 形容詞的用法 副詞的用法	〈5〉	助動詞 接続詞that	助動詞を用いた文 接続詞that メディア・スクーリングのみ実施
			〈6〉	接続詞when 第4・5文型	接続詞when 第4文型と第5文型 メディア・スクーリングのみ実施
6	動名詞	動名詞を用いた文	〈7〉	to不定詞	名詞的用法 形容詞的用法 副詞的用法 メディア・スクーリングのみ実施
			〈8〉	動名詞	動名詞を用いた文 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	3枚	スクーリング 回数	3回
家庭	家庭基礎①	立岡	(ねらい) 家庭科はくらしの感性をみがく教科です。自分をとりまく家族や社会に目を向け、充実した人生に必要な知識技術を身につけましょう。							

注意 事項	●レポートは、教科書に基づいて作っています。教科書を何度も読み返しましょう。 ●スクーリング時は、必ず教科書、筆記用具を持参し、相当する内容のレポートに目を通しておいください。 ●家庭科は他の教科との関連が大きいので合わせて学習してください。(自分で調べる問題も少しあります。ネットや辞書を利用して学習を深めてください。)									
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	家族・家庭生活について	家族や家庭、家庭と社会の関係について考え、多様な家族のあり方を理解する	〈1〉	家族・家庭・社会について考える	家族がどのように変化してきたのか、現代の家族の特徴や機能について学ぶ。 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	子どもの生活と子育てについて	子どもの成長発達を学び、子どもとの適切なかわり方を考える	〈2〉	子どもと子育てについて	子どもと子育てについて学ぶ。 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	経済生活について	現代の消費生活の特徴、キャッシュレス化や消費者問題について理解する	〈3〉	現代の消費生活について	現代の消費生活について学ぶ。 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	3年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	6回
情報	情報リテラシー	小椋	(ねらい) ○情報社会で生きていくために必要な知識を身に付ける。							

注意 事項	・レポートは、教科書をよく読んで取り組みましょう。 ・レポートにあるチャレンジ問題にも、積極的に取り組みましょう。 ・教科書は、「情報 I Step Forward!」を使います。									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	メディアとその特性	・メディアとは何か ・情報伝達とコミュニケーション	〈1〉	情報伝達	情報の伝わり方 情報のとらえ方 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	メディアと文化の発展 ネットコミュニケーション	・誰でも表現者、発信者 ・ネットコミュニケーションの特徴	〈2〉	情報伝達	情報をデザインする① 伝わりやすい情報、伝わりにくい情報 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
3	情報デザイン	・情報デザインとは ・効率的に伝えるために	〈3〉	情報伝達	情報をデザインする② 読みやすい文書とは？ 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
4	全ての人に伝わるデザイン	・ユニバーサルデザイン ・読みやすいデザイン	〈4〉	メディアについて	メディアを通して知ることのできる情報について考える メディア・スクーリングのみ実施
5	よりよい情報デザインを行うために	・デザイン思考のプロセス ・ピクトグラム	〈5〉	情報を発信すること	情報発信時の注意点 SNSについて メディア・スクーリングのみ実施
6	データの分析	・データの可視化 ・問題解決 ・グラフでの表現	〈6〉	情報化と社会の変化	アナログとデジタル 新しい情報技術 メディア・スクーリングのみ実施

教科	科目	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	6枚	スクーリング 回数	2回
郷土 学習	東近江大風	小椋	(ねらい) 東近江大風の伝統を知り、文化の継承・発展の担い手となる。 判じもんや風の図柄を考えることで、発想力を身に付ける。							

注 意 事 項	レポート内容 No.1～3は、補足プリントを見たり、インターネットで検索したりするなど、調べ学習が中心です。 いろいろな資料を見て、勉強を進めましょう。 No.4～6は、東近江大風の特徴の1つである判じもんについて、具体的に考える課題です。 レポートのはじめに、例がありますので、例をよく見て取り組みましょう。 自分で考えることが多いので、ゆっくり時間をとって、取り組みましょう。
------------------	--

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	東近江大風の歴史 東近江大風の特徴	東近江大風の歴史や特徴について学ぶ	<1>	東近江大風 について	東近江大風について学ぶ ※特に、特徴の1つである「判じもん」について、詳しく見ていきます 学校でのスクーリング実施 メディア・スクーリング実施
2	100畳大風について	100畳大風について学ぶ			
3	東近江大風の名称 (判じもんについて)	東近江大風の特徴を学ぶ これまでの東近江大風の判じもんを調べる			
4	判じもんを学ぼう	判じもんの成り立ちを考える	<2>	大風会館 の 見学	大風会館を動画で見学する。 ・東近江大風の歴史を学ぶ ・色々な風を見て、判じもんを考える ヒントを得る ・日本各地、世界各国の風を見る メディア・スクーリングのみ実施
5	判じもんを学ぼう	判じもんの成り立ちを考える			
6	判じもんを学ぼう	いろんな言葉を絵で表し、 それを使って風の図柄を考える			

総合的 な 探求	講座	担当	単位数	2単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	4枚	スクーリング 回数	2回
	日本の美を 探求する	上山	(ねらい) 近世日本の画家の人物・作品の芸術性などを調べ、日本の美の素晴らしさを探求する。美術館や博物館で催される展覧会に足を運び、より本格的な学習をする。							

注 意 事 項	<レポート> ●No.2, 3の調べ学習は、調べた内容を自分でまとめる必要があります。(見本あり) ●No.4は実際に美術館や博物館に足を運び、絵画を鑑賞し、記録する必要があります。 ●別紙(レポート作成のための冊子)を見て、レポートを完成させること。
	<スクーリング> ●集中して取り組み、配布する課題をきちんとこなすこと。

添削指導			面接指導		
No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	近世絵画の概説 No.4の計画	①安土・桃山時代から江戸末期の絵画をジャンル別にみていく ②施設見学の計画を立てる	〈1〉	浮世絵版画	・浮世絵版画とは？ ・有名な浮世絵版画的作品を見る 学校でのスクーリングのみ実施
2	指定されている近世の画家の中から一人ずつ選 び、作成要領に従って、レポート(B4用紙両面)を 仕上げる。No.2とNo.3の画家は別の画家を選ぶ こと。				
3					
4	展覧会	美術館や博物館などの施設に 実際に足を運び、 絵画を鑑賞する。 ※特別展・常設展は問わない。 ※レポートは所定の様式がある。 学校でのスクーリングのみ実施	〈2〉	優秀レポートの紹介 学校でのスクーリングのみ実施	

総合的な 探求	講座	担当	単位数	1単位	配当年次	2年次	レポート 枚数	4枚	スクーリング 回数	4回
	ライフデザインB	住友	(ねらい)進路を かんがえる うえで 最低限 必要な 知識を 修得し、 主体的な 進路選択を 可能とする。							

注意事項	〈レポート〉	● スクーリングの ときに くばります。 ● できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。
	〈スクーリング〉	● 遅刻した人は 入室禁止 (つまり欠席となる)。4回とも出席しないと 不合格。 ● ふまじめな ひと、態度の わるい ひと、まわりの めいわくになる ひととは、欠席にする。

添削指導 ・ 面接指導		
No.	レポート・スクーリングのテーマ・単元内容	
1	〈1〉	業種 ・ 職種 ・ 職業 学校でのスクーリングのみ実施
2	〈2〉	自分の つよみは なにか 学校でのスクーリングのみ実施
3	〈3〉	フリーターと 正社員 メディア・スクーリングのみ実施
4	〈4〉	職業準備性 メディア・スクーリングのみ実施

令和 5 年度総合的な探求の時間について

「総合的な探求の時間」は卒業するまでに3～12単位必ず履修してください。

内容については、**司学館講座** とそれ以外の **通常型の講座** の2パターンあります。

★司学館講座について

各学期ごとに、それぞれ6時間分6名の教員が各1時間ずつ担当して講義をします。それらのうち、3時間出席し各講義で配布されるレポート課題を提出し合格すれば1単位修得となります。6時間出席すれば2単位修得となります。

注意その1 →登録時に単位数(1単位あるいは2単位)を選び、2単位なら6時間すべて、1単位なら3時間どの講義に出席するかを選んで登録します。(別紙登録用紙あり)

↓

2単位登録生徒 → 6時間すべて出席で2単位合格 3～5時間出席の場合、1単位合格

1単位登録生徒 → 3つ選び登録 3時間すべて出席で1単位合格

※ただし、年次によって登録できる単位数がちがいます。1・3年→1単位 2・4年→2単位

注意その2 → 学校で実施するスクーリングのみとなります。メディア・スクーリングは実施しません。

注意その3 →テストはありませんが、遅刻・欠席は一切認められません。遅刻・欠席をすると単位認定されません。

注意その4 →再履修の授業料免除はありませんので、落とさないようにしましょう。

★通常型の総合探求について

以下の2つの講座が開講されます(詳細は学習計画表を参照してください)

学期	講座名	担当	配当年次	スクーリング回数	レポート枚数	スクーリング
前期	ライフデザイン B	住友	2 年次	4回	4枚	通常曜日
	日本の美を探究する	上山	2年次	2 回	8 枚	金曜日

注意その1 → 「ライフデザイン」は、<1><2>が学校でのスクーリングのみ、<3><4>はメディアのみです。

注意その2 → 「日本の美を探究する」は学校でのスクーリングのみです。メディアはありません。

注意その3 → 「ライフデザイン」「日本の美を探究する」は、テストはなし、遅刻・欠席は一切認められません。
スクーリングの実施方法などは学習計画表を参照してください。

	担当者	講座名(テーマ)	講座内容	ねらい
前期	住友	「やさしい」は 「あたらしい」 アクセシビリティが ひらく 未来	みみの 不自由な おかあさんや おくさんと スムーズに コミュニケーション したい。 そう おもった グラハム・ベルの 研究が 電話の 発明に、つながりました。 やさしさは 世界を ひろげ 未来を きりひろくのです。 	アクセシビリティを 理解する 世界を ひろげる アイディアを かんがえる
	山口	偉大なスポーツ選手 ～アントニオ猪木～	スポーツの中には、それぞれ伝説を残した人がいます。その中でも私の印象に残る人物を紹介していきます。今回は、昨年10月に他界したプロレス界のカリスマ「アントニオ猪木」氏について紹介します。彼の生き方を学びましょう。	・人物、そのスポーツに興味を持つ。 ・功績や名言を知る。 ・国際理解やスポーツと経済を考える。
	上山	公案 ～禅問答の世界～	仏教の宗派の中に、禅宗と呼ばれる宗派があります。座禅を組むことで有名な宗派です。禅宗では師と弟子の間でやりとりをしながら修行するという禅問答があります。その禅問答での問題集が公案です。みなさんも禅問答の世界をのぞいてみましょう。	・禅宗について知る ・ものごとを深く考えてみる
	小梶	バレエ入門	3大バレエ(白鳥の湖、くるみ割り人形、眠りの森の美女)の鑑賞。 ストーリーや、その見どころも紹介します。	バレエという舞台芸術に触れ、豊かな感性をはぐくむ。
	桂田	ダブルレットを使って サルをヒトに 進化させよう	ルイス＝キャロル(不思議の国のアリスの作者)考案のダブルレットという言葉遊びのゲームをします。サルをヒトに、米を酒に、与えられた単語から、単語をつないで、もう一つの与えられた単語まで到達するゲームをします。	言葉を使い、言葉を考えることにより、語彙を増やし、言葉についての感覚を磨く。
	松藤	遊びを極める ～花札を使って～ (どちら様も「入ります」)	レクリエーションの世界に50年いた経験から花札を使って、遊びの醍醐味を体験しましょう。 近くの人とペアになって遊びます。 <u>カードが裏返せないから付け爪を外して参加してください。</u> きっと、レクリエーションって面白いと思いますよ。	人のぬくもりを感じてください
後期				

学習活動における注意事項

★学校でのスクーリング

- ①遅刻をしないこと！ → 遅刻すると、出席点が半分になります。遅刻が原因で不合格になるケースが増えていますので、気を付けること。
- ②教科書・レポート・筆記用具を忘れない！ → 教科書・レポートは授業中に使用するため、必ず持ってくる。忘れた場合、減点になることもあります。また、筆記用具は必ず持ってくるようにしてください。筆記用具は貸し出しをしておりません。事務室にて、消しゴム付鉛筆（1本 20円）を販売しています。
- ③真剣に取り組む！ → 数少ない授業です。真剣に取り組みましょう。私語・携帯・寝るなど、授業を妨げる行為はやめましょう。きちんと取り組まなかったり、指導に従わない場合、欠席扱いとなる場合もあります。
- ④体育実技について → 実技の時はジャージを必ず持参するようにして下さい。忘れた生徒は見学扱いとなります。（靴は貸し出しできますが、持参していただいてもかまいません。
- ケガ防止のため、実技の時は、ピアスやネックレス、時計などははずして参加するようにしてください。
- ⑤教科書の持参 → スクーリングでは、教科書を使用しますので、必ず教科書を持ってくること。忘れた場合、減点の対象になる場合があります。

登校時に公共交通機関が延着した場合はどうする？

JRや近江鉄道など、公共の交通機関は様々な理由で時間通りに運行できない場合があります。そのせいで、本来時間に間に合ったはずのスクーリングやテストに間に合わないときは、まずは学校に電話して指示をあおぎましょう。なお、交通渋滞による送迎時の遅れについては、自己責任となりますので、時間ぎりぎりに登校するのではなく、時間的に余裕を持って登校するように心がけましょう。

★メディア・スクーリングにおける注意事項

- ① 真剣に見ること → リラックスしてみるのはい構いませんが、スクーリングですので気を抜かずに集中して視聴してください。
- ② 課題を仕上げること → スクーリングの課題は、きっちりと仕上げること。(できるだけ満点に)
適当に仕上げた課題は、再提出や不合格になることがあります!!
- ③ メ切を守ること → 後回しにしていると、量が多くなってしまい、すべて視聴することができなくなってしまいます。プリントに書いてある各配信ごとのメ切日に間に合うように提出してください。課題の未提出や、不合格のまま最終メ切を超えてしまうと、スクーリングの出席と認められませんので気を付けること。
- ④ 免除の上限について → メディア・スクーリングで免除ができる回数の上限を設けています。上限を超えて受講した分については出席点が入りませんのでご注意ください。それぞれの科目・講座の回数については、この冊子の「メディア・スクーリング科目別免除回数一覧」を見ておくこと。

★レポート

- ① レポートの管理 → ていねいに扱い、ていねいな字で書きましょう。(ボールペンは禁止です) 雑に扱い、雑な字を書く人は、不合格になる確率が高いです。また、紛失しないように気を付けること。
- ② 計画的に! → 単位修得の一番の早道は、計画的な学習です。締切ぎりぎりまで、レポートに手を付けない人は、不合格になる確率が高いです。各レポートの締切をしっかりと守るようにしましょう。
- ③ レポートのやり方 → 学力に不安があったり、苦手な科目があったりして、なかなかレポートが進まない場合、登校して担当者に質問してレポートを仕上げましょう。わからないからといって、他人のレポートを写したり、人に書いてもらったりすると、採点できません。こちらの指導に従っていただけない場合は、レポートメ切前であっても、不合格となることもあります。
- ④ 提出について → レポートを提出する場合、必ず本人によって提出するようにして下さい。他の生徒のレポートを本人に代わって提出することはできません。

メディア・スクーリング科目別免除回数一覧

	規定回数	学校での 実施回数	メディア 実施回数	メディアで免除 できる回数
国語演習①	2	1	2	1
現代の国語	2	1	2	1
世界史A	2	1	2	1
地理総合	2	1	2	1
日本の文化を学ぶ	2	1	2	1
公共	2	1	2	1
新聞を読もう	2	1	2	1
倫理	2	1	2	1
現代の課題	2	1	2	1
数学演習①	3	2	3	1.5
数学I①	2	1	2	1
数学A	2	1	2	1
科学と人間生活①	4	2	4	2
地学基礎①	4	2	4	2
生物基礎①	4	2	4	2
保健A	2	1	2	1
体育A①	10	4	10	6
体育B①	5	2	5	3
体育C①	5	2	5	3
体育D	8	8(学外8)	なし	なし
体育G	4	3(学外1含)	1	1
音楽I	8	4	8	4
英語演習①	4	2	4	2
英語コミュニケーションI①	8	4	8	4
家庭基礎①	3	2	3	1.5
情報リテラシー	6	3	6	3
近江の偉人	2	1	2	1
琵琶湖と環境	2	1	2	1
東近江大風	2	1	2	1
司学館講座(1単位登録)	3	3	なし	なし
司学館講座(2単位登録)	6	6	なし	なし
ライフデザインB	4	2	2	2
日本の美を探究する	2	2	なし	なし
HR	3	3	なし	なし

★メディア・スクーリングで免除できる回数の上限が各科目で設けられています。
 上限を超えた場合、その超えた分の出席は認められませんので、ご注意ください。

★体育D・日本の美を探究する・HR → メディアの実施はありませんので、登校してください。

成績評定と観点別学習状況の評価

●成績評定について

各科目の成績は、レポート・スクーリングにおける学習状況、期末試験の成績等によって総合的に評価されます。判定された成績評価の区分は次のとおりです。

5	大変優れている	合格[単位認定]
4	優れている	
3	普通	
2	やや劣る	
1	評価の対象外	不合格[単位不認定] (レポート不合格、スクーリング不合格、期末試験不合格 など)

●観点別学習状況の評価について

各科目の学習状況については、成績評定だけでなく、以下の観点について、評価したものを成績評定とともに生徒・保護者に通知します。

<知識・技能>

- ・レポートにおいて、十分な成果を上げることができた。
- ・試験において、十分な成果を上げることができた。

<思考・判断・表現>

- ・レポートで得た知識を利用して、考え表現することができた。
- ・スクーリングで得た知識を利用して、考え表現することができた。

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・レポートにおいて計画的に学習をすすめることができた。
- ・レポートにおいて、教科書以外の調べ学習についてしっかりと取り組むことができた。
- ・スクーリングの出席率。

知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 について、それぞれ3段階で評価します。

A	十分満足できる
B	おおむね満足できる
C	努力を要する